

## 第2期高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

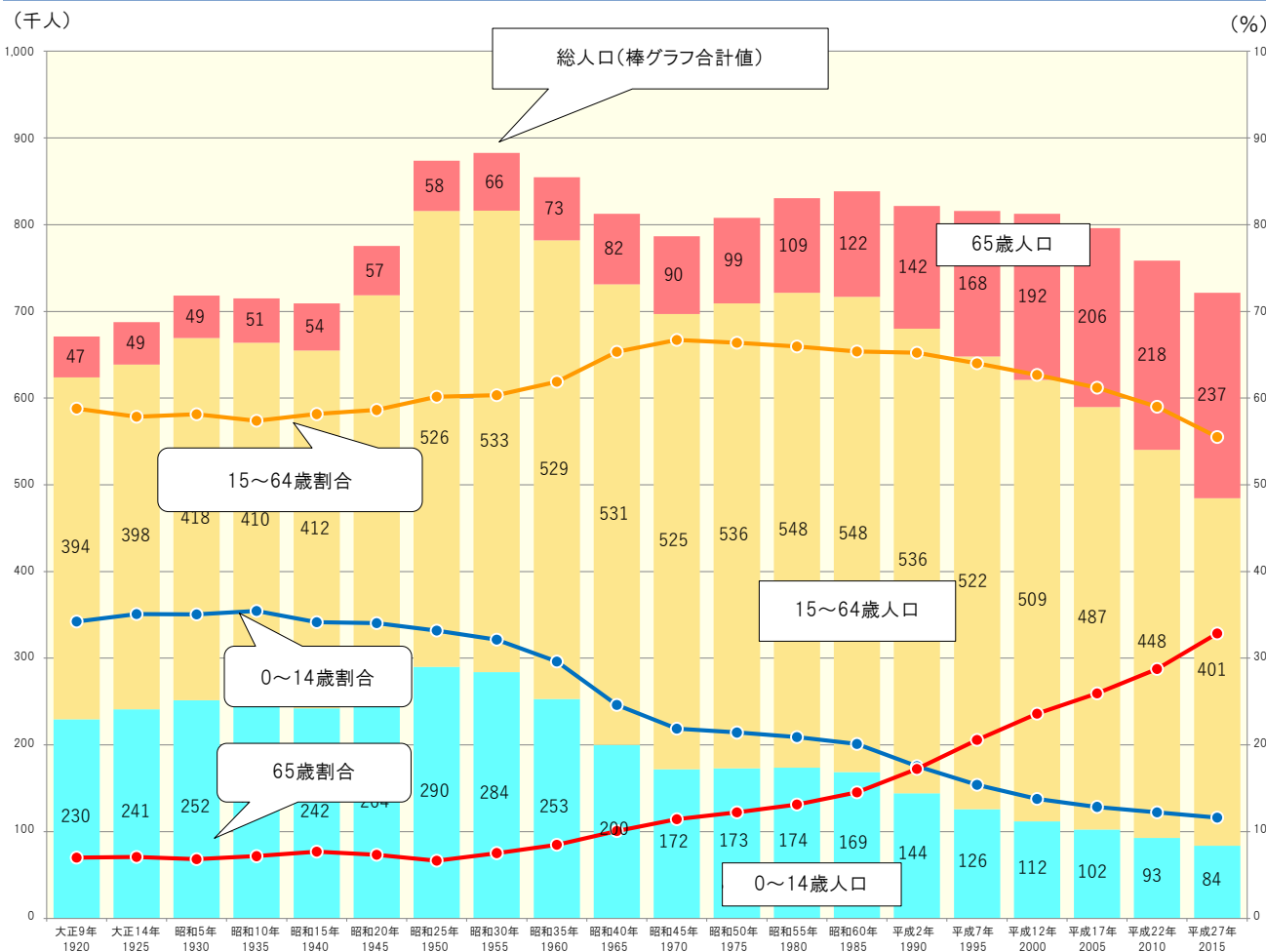
### (目次)

- 高知県の人口の現状等 . . . . . 1
- 第1期総合戦略の総括 . . . . . 2
- 高知県人口の将来展望 . . . . . 3
- 第2期総合戦略の全体像 . . . . . 4

# 高知県の人口の現状等

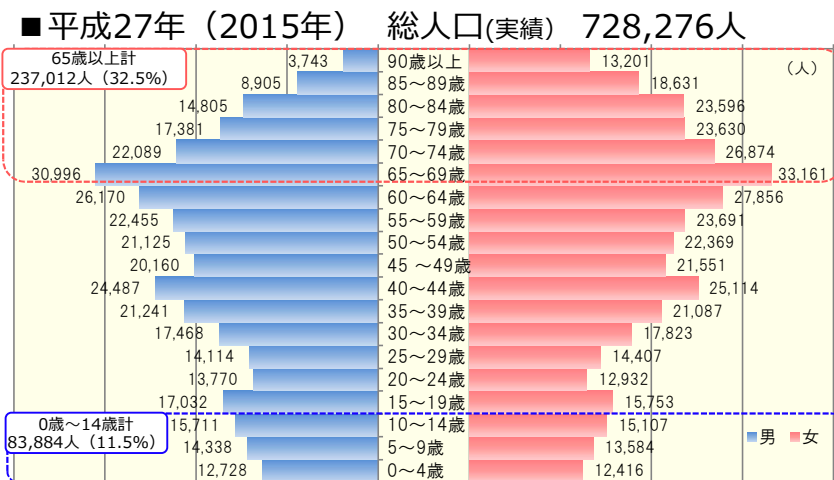
- 本県の人口は、高度経済成長期における大都市圏への大幅な人口流出などの影響により、昭和30年（1955年）の88万3千人をピークに減少を始めた。その後、昭和45年（1970年）の78万7千人を底に、いったん下げ止まり、第2のピークにあたる昭和60年（1985年）の84万人まで再び増加した。しかし、それ以降は、出生数の減少などの影響による減少傾向が続き、平成27年（2015年）には72万8千人となっている。
- 近年、0歳から14歳までの年少人口と15歳から64歳までの生産年齢人口は減少する一方で、65歳以上の老年人口は、平成7年（1995年）に初めて年少人口を上回るなど増加を続けている。
- 国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口によると、令和27年度（2045年）には総人口49万8千人となり、年少人口は令和27年度（2045年）の8万3千人から4万8千人にまで減少すると推計されている。また、平成27年（2015年）実績と令和27年（2045年）推計を比較すると、高齢化率は32.8%から42.7%に上昇し、65歳以上の人口は約3.1人に1人から、約2.3人に1人となる見込みが示されている。

## 高知県の人口及び年齢3区分別人口の推移

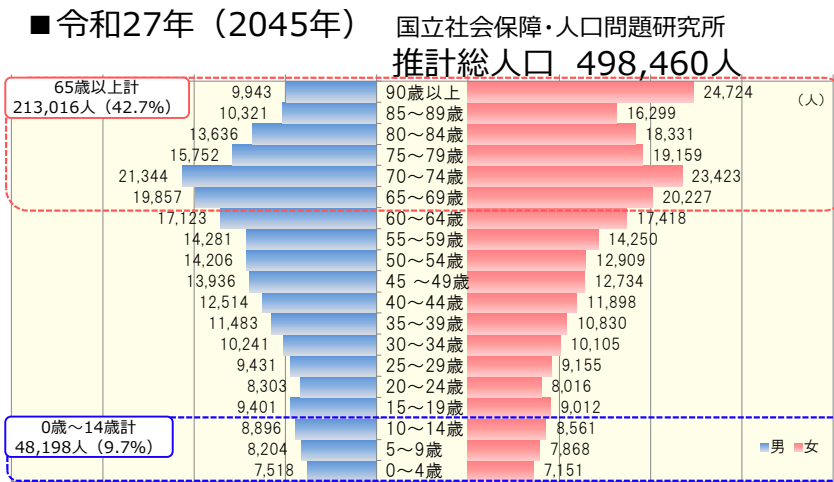


(出典) 総務省「国勢調査」

## 高知県の人口ピラミッド



(出典) 総務省「国勢調査」※人口ピラミッドは、年齢不詳を除く



(出典) 国立社会保障・人口問題研究所 「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」

## A 基本目標1 地産外商により安定した雇用を創出する

項目	H13⇒H20	H20⇒H29
生産年齢人口 <small>*住民基本台帳</small>	△8.8%	△14.2%
県内総生産(名目)	△13.7%	+7.0%
[参考] 国	△2.4%	+7.5%
1人当たり県内総生産額	△9.6%	+16.2%
県内総生産(実質)	△7.3%	+4.4%
[参考] 国	+6.6%	+9.0%
1人当たり県内総生産額	△2.8%	+13.3%
1人当たり県民所得	△14.2%	+20.2%
[参考] 1人当たり国民所得	△3.8%	+11.3%

生産年齢人口の減少に関わらず、マイナス成長がプラス成長に転じる

(注)  
 ・H13⇒H20の経済成長率等は、旧基準(平成17年基準)の数値を使用(最新の平成23年基準では、平成18年度までしか適及改定をしていないため)  
 ・住民基本台帳は、平成24年度までは3.31時点の数、H25年度以降は1.1時点の数値を使用し算定  
 ・下表の[ ]はH13、H17比、( )はH20比  
 ・正社員有効求人倍率は、H16.11から統計開始のため、H17の数値を使用

- 有効求人人数(月平均) H13: 8,531→H20: 8,045 [△ 5.7%] →R元: 15,852人 (H20比+97.0%)  
◇有効求人倍率 H13: 0.45⇒H20: 0.46⇒R元: 1.27 (R元.7: 過去最高1.31)
- 正社員有効求人人数(月平均) H17: 4,235 →H20: 3,424 [△19.1%] →R元: 6,309人 (H20比+84.3%)  
◇正社員有効求人倍率 H17: 0.28⇒H20: 0.24 →R元: 0.76 (R元.12: 過去最高0.84)
- 雇用保険被保険者数 H13: 181 →H20: 179 →R元: 197千人
- 完全失業率\*モデル推計値 H13: 5.2 →H20: 4.8 →R元: 1.9%

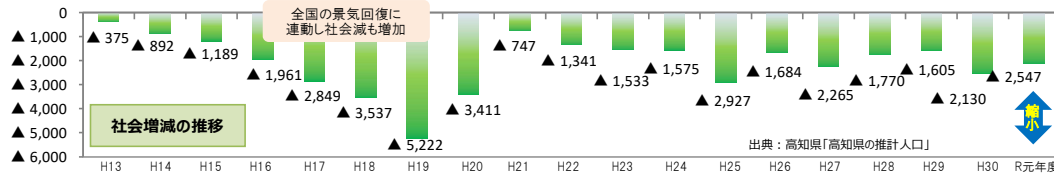
【課題】 県民所得などの伸びは全国を上回るものの、依然全国の絶対水準を下回る。また、人手不足や後継者不足は深刻化している

【強化の方向性】

- ① デジタル技術と地場産業の融合  
(Society5.0関連の産業群の創出、付加価値や労働生産性の高い産業の育成を目指す)
- ② 県外・海外とのネットワークの強化 (特に、経済活力に満ちている関西圏との連携を強化)

## B 基本目標2 新しい人の流れをつくる

○かつての全国的な景気回復局面の社会減の水準と比較して、1/2程度まで改善



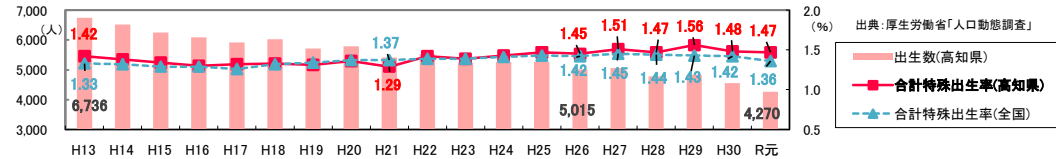
- 移住者数 H23: 120組 (241人) →R元: 1,030組 (1,475人) (※) 高知大、県立大、工科大、高知高専、高知学園短大、看護専攻科(東、中央)
- 地域おこし協力隊 H22: 2町12人 →R元: 30市町村179人
- 県内就職率 高校生 H20: 47.3% →R元: 64.7% 県内大学生等(※) H26: 36.5% →R元: 36.6%  
※) 高知大、県立大、工科大、高知高専、高知学園短大、看護専攻科(東、中央)  
 専門学校生 H26: 77.8% →R元: 67.0% 県出身県外大学生 H26: 13.6% →R元: 18.6%

【課題】 一定の改善傾向にはあるものの、若者を中心に県外流出が続く

【強化の方向性】 担い手確保策と移住促進策の連携

## D 基本目標3 若い世代の「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する

- 出生数は減少傾向。本県の人口構成から、当面の間、出生数の減少は避けられない
- 合計特殊出生率は、令和元年は1.47となり、平成21年の1.29を底に上昇している  
この間の本県の出生率は、全国を上回る伸び率となっている



- 【出会い・結婚】 県の支援を通じた お引き合わせ成立数 18,753組、マッチング数 5,065組、成婚報告数 261組 (H19～R元)  
[マッチングシステム稼働後 179組] (H28～R元)
- 【妊娠・出産】 3歳児健診受診率 H25:85.1% (全国92.9%) → H30:96.9% (全国95.9%)
- 【子育て】 地域子育て支援拠点事業の実施箇所数 H26:21市町村43か所 →R元:24市町村1広域連合48か所

【課題】 希望の実現に向けては、まだまだ道半ば。安心して妊娠・出産・子育てができる環境構築が必要  
 【強化の方向性】 妊娠期からの切れ目ない支援を行う「高知版ネウボラ」を充実

## C 基本目標4 コンパクトな中心部と小さな拠点との連携により人々の暮らしを守る

- 中山間地域においても、生産年齢人口の減少に関わらず、マイナス成長がプラス成長に転じる
- 地域の支え合いや活性化、地域福祉の拠点のネットワークが拡大した

項目	H13⇒H20	H20⇒H29	【寄与度】		
			H13⇒H20	H20⇒H29	
生産年齢人口(※1)住基台帳	△13.1%	△20.5%	一次産業	△1.4%	+1.9%
市町村内総生産(名目)(※1)	(※2) △15.4%	+8.9%	農業	△0.5%	+1.2%
			林業	△0.5%	+0.3%
			水産業	△0.3%	+0.5%
[参考] 高知市、南国市、香南市	△12.5%	+5.9%	二次産業	△9.6%	+4.5%
			鉱業	△0.2%	+0.1%
			製造業	△1.3%	+1.7%
			建設業	△8.0%	+2.7%
1人当たり総生産額(※1)	△7.9%	+26.1%	三次産業	△4.7%	+2.3%

(※1) 高知市、南国市、香南市を除く市町村  
 (※2) 旧基準(平成17年基準)の数値

- 集落活動センター H26: 17か所 →R元: 59か所
- あったかふれあいセンター H26: 38か所176サテライト →R元: 50か所238サテライト

【課題】 高齢者や若者が地域で住み続けられるよう活動の継続や暮らしへの支援の充実が必要  
 【強化の方向性】

- ① 引き続き小さな拠点のネットワークの拡大を図るとともに、活動の継続・充実や経済活動を強化
- ② 高齢者が安心して住み続けられる地域を実現するため「高知版地域包括ケアシステム」を充実するとともに、新たな技術を活用し、地域の暮らしの質を向上

### 全体総括

- 各基本目標毎で一定の成果が見られるものの、人口動態の改善効果が発現するには取り組みの継続が必要
- 次期戦略においては、基本目標の大枠(ABCD)は維持しつつ、各施策群のバージョンアップを図る

## 第2期戦略の高知県人口の将来展望の概要

国立社会保障・人口問題研究所の最新の推計に準拠すると、県人口は令和42(2060)年に約39.4万人まで減少する見通し。(ただし、前回の推計と比較すると、生残率の上昇により約4千人増加する。)

第2期戦略における「県人口の将来展望」を策定するにあたり、基礎数値を更新(平成22(2010)年国勢調査ベースから平成27(2015)年国勢調査ベースに更新)し、改めて将来展望の推計を行った結果、第1期戦略の出生率・社会移動の目標の達成は困難な見込み(※)であるが、生残率の上昇の影響もあり、以下の目標を達成することにより、「第1期戦略の県人口の将来展望」に掲げた「令和42(2060)年の県人口を約55.7万人にとどめる」ことが可能であることから、この実現に向け挑戦を続けていく。

※ ■出生率 目標 R元:1.61 実績 H30:1.48 ■社会増減 目標 R元:±0 実績 H26-30平均:▲1,974

### 目標

#### 【出生(自然増減)】

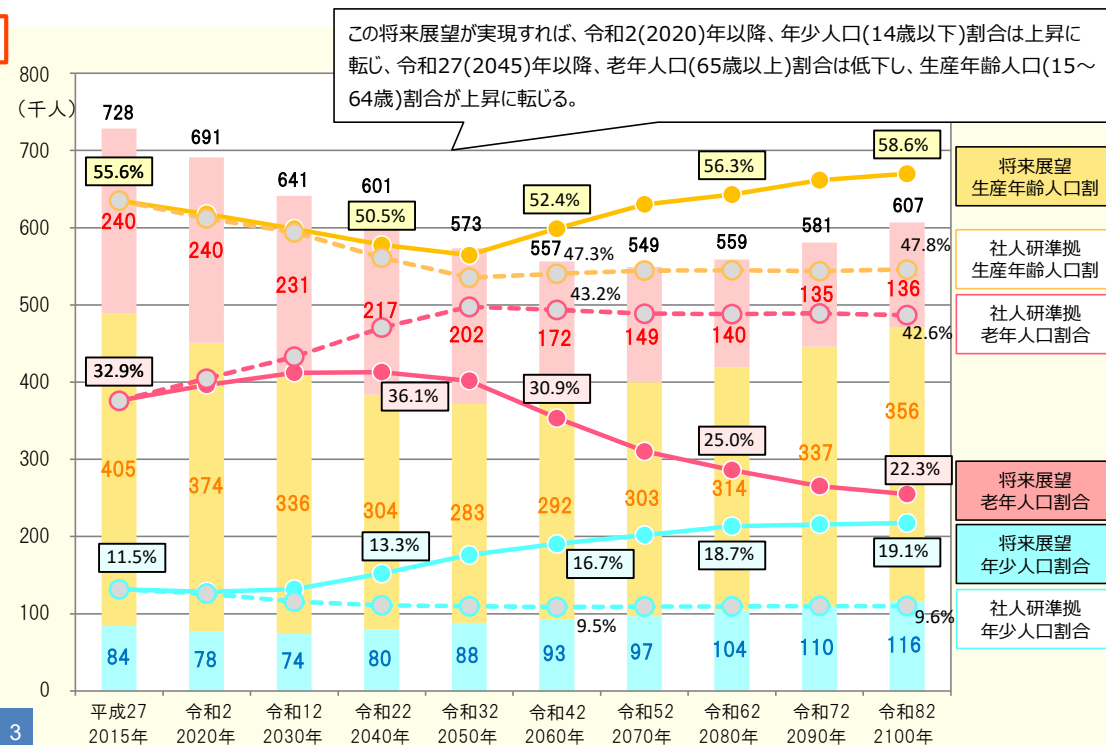
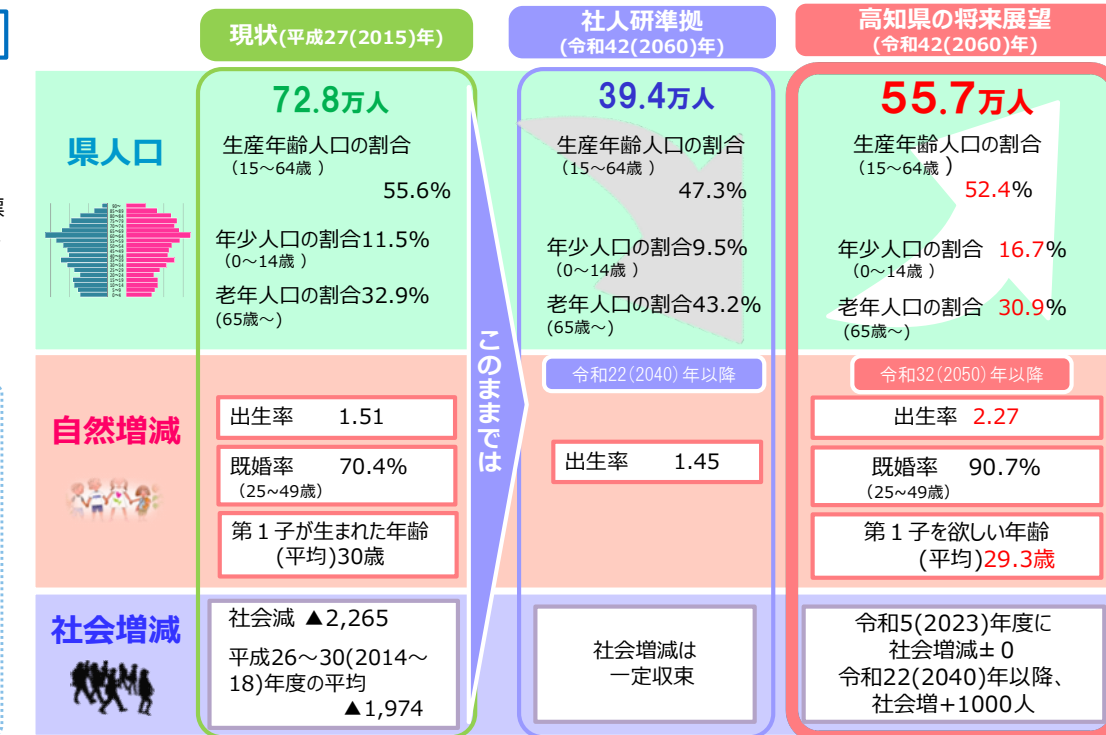
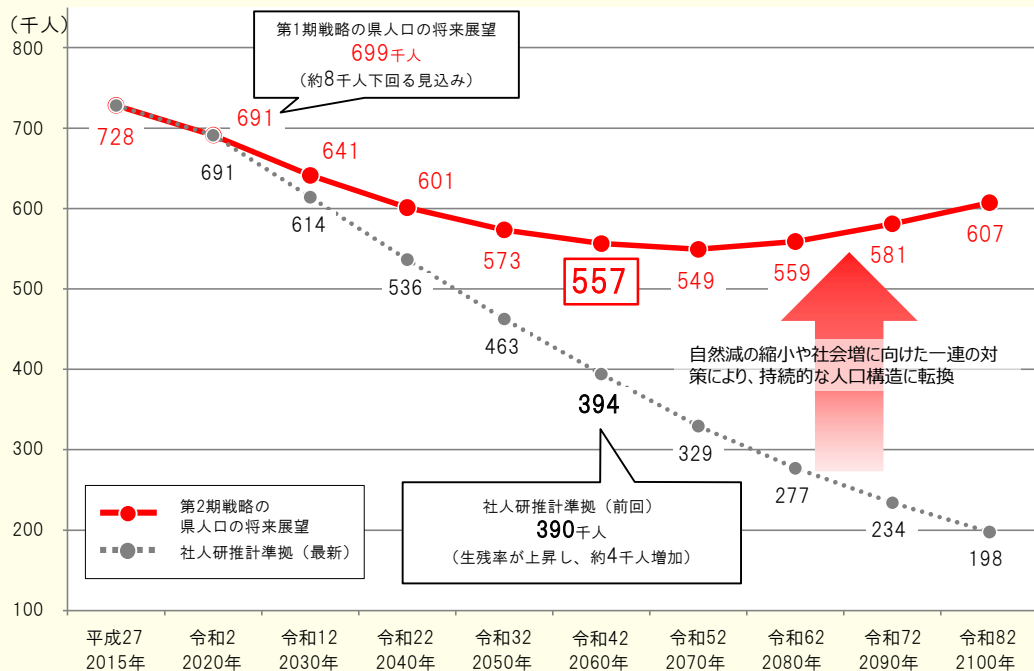
- ① 国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と同様に、**令和22(2040)年に出生率が2.07まで段階的に回復**することを旨とする
- ② さらに、県民の皆様の結婚・出産の希望をかなえること(※)を前提とし、**令和32(2050)年に出生率が2.27まで段階的に上昇**することを旨とする

※ 平成27年度「少子化に関する県民意識調査結果」をもとに高知県における希望出生率を算出

#### 【移動(社会増減)】

- ① 移住促進や新卒者の県内就職促進などにより県内定着の希望を高めることを前提とし、**令和5(2023)年度に社会増減が均衡し、令和22(2040)年に社会増が年間1000人まで段階的に上昇**することを旨とする

## 高知県人口の将来展望の見通し(図表)





次の4つの施策群に全力で取り組み、力強い好循環を生み出すことで、少しでも人口減少を食い止めるとともに、できるだけ早い時期に人口構成を若返らせ、将来的には人口増加に転じることを目指す



- 4つのポイントで効果的に戦略を推進
  - ポイントⅠ 好循環の創出とネットワークの創出
  - ポイントⅡ 計画の進捗管理の徹底
  - ポイントⅢ 官民協働、市町村との連携協調
  - ポイントⅣ SDGsを意識し、施策を推進

### 基本目標1 地産外商により魅力のある仕事をつくる

**A**

- **地産の強化**  
「新たな付加価値の創造を促す仕組み」の構築  
➢ 高知版Society5.0の実現など  
IT・コンテンツ関連産業の集積、様々なオープンイノベーションプラットフォームの構築、企業のデジタル化の推進 等  
事業戦略の策定支援など事業化に向けた支援の強化
- **外商の強化**  
外商活動の全国展開の強化、海外への輸出の本格化
- **成長を支える取り組みを強化**  
人材の育成、担い手の確保策の抜本強化、働き方改革の推進と労働生産性の向上

【数値目標】  
4,000人の雇用を創出 (R2～5年度の4年間)

### 基本目標2 新しい人の流れをつくる

**B**

- 県内高校生等の県内就職の促進
- 移住の促進  
➢ U I ターンのさらなる促進など

【数値目標】  
社会増減の均衡 (R5年度)

### 基本目標3 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する

**D**

- ライフステージの各段階に応じた少子化対策の推進  
➢ 高知版ネウボラの推進など
- 官民協働による少子化対策を県民運動として展開
- 女性の活躍の場の拡大

子ども・子育て支援事業支援計画・次世代育成支援行動計画、こうち男女共同参画プラン等により推進

【数値目標】  
合計特殊出生率 1.7 (R6年)

### 基本目標4 高齢者の暮らしを守り、若者が住み続けられる中山間地域をつくる

**C**

- 中山間地域と都市の維持・創生
- 住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる県づくり  
➢ 高知版地域包括ケアシステムの推進など
- 未来技術を活用した暮らしの質の向上  
➢ ICTを活用した教育の推進など【再掲】

中山間総合対策本部、日本一の健康長寿県構想により推進

【数値目標】  
集落活動センター 80か所 (R6年度)

産業振興計画により推進

# [参考] 第2期高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略の構成

## 7 高知県の現状と目指すべき方向

- (1) 高知県の長期的な人口の動向
- (2) 第1戦略の策定の背景及び総括

### 【人口の動向・第1期戦略策定背景】

○人口の動向を分析 ⇒ 人口減少に伴う負の連鎖

### 【第1期戦略の総括】

- 人口減少下においても拡大する経済へと構造を転じつつある
- 完全雇用状態を背景に人手不足・後継者不足が深刻化
- 出生に関する希望の実現に向けて道半ば

### (3) 目指すべき方向

○人口の将来展望(2060年)の見通し 約55.7万人

**目指す姿** 地産外商が進み、地域地域で若者が誇りと志を持って働ける高知県

## 2 第2期戦略の推進に向けた本県の基本的な考え方

### (1) 第2期戦略の基本目標

基本目標1 地産外商により魅力のある仕事をつくる

基本目標2 新しい人の流れをつくる

基本目標3 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する

基本目標4 高齢者の暮らしを守り、若者が住み続けられる中山間地域をつくる

## 3 総合戦略の効果的な推進

### (1) 総合戦略の策定・推進にあたっての4つのポイント

#### I 好循環の創出とネットワークの創出

- ①システム全体を考察。好循環の創出に向けて隘路(ボトルネック)を解消し、牽引役を育成
- ②ネットワークを意図的につくる、生かす

#### II 計画の進捗管理の徹底

- ①目指す姿、数値目標を設定・共有
- ②5W1Hを明示、PDCAサイクルにより取り組み状況を点検・検証
- ③政策群ごとに、施策間の有機的な連携(施策のパス回し)を確認

#### III 官民協働、市町村との連携協働

- ①多くの皆様に参画いただけるよう、川上から川下までの多様なニーズに対応できる総合的な政策群を用意
- ②県と市町村がベクトルを合わせ、相乗効果を発揮

#### IV SDGsを意識し、施策を推進

- ①SDGs(持続的な開発目標)の17の目標の達成にもつながるよう意識

### (2) 進捗管理体制

○まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部などの庁内組織、外部委員で組織する「高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会」において、PDCAサイクルにより取り組み状況を点検・検証⇒必要な対策の追加、見直しを行い、毎年、改定

※高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会の構成 産・官・学・金・労などの広範な分野の委員が参画

## 4 基本目標と基本的方向、具体的な施策

### 《基本目標と基本的方向》

### 高知県産業振興計画

#### 基本目標1 地産外商により魅力のある仕事をつくる

各産業分野における産出額等の増加  
雇用の創出 **4,000人** (R2~R5の4年間)  
現状:H21~R30の10年間で県が定量的に把握9,242人

#### ●付加価値や労働生産性の高い産業を育む

#### 【基本的方向】

- 1.地産の強化
  - 「新たな付加価値の創造を促す仕組み」の構築
  - 事業化に向けた支援の強化
- 2.外商の強化
  - 外商活動の全国展開の強化
  - 海外への輸出の強化
- 3.成長を支える取り組みを強化
  - 人材の育成
  - 担い手の確保策の抜本強化
  - 働き方改革の推進と労働生産性の向上

主なKPI 第4期高知県産業振興計画(参照)

#### 基本目標2 新しい人の流れをつくる

数値目標 令和5年度に社会増減をゼロにする  
現状:▲1,974人(H26~H30年度の平均)

#### 【基本的方向】

- 1.新規卒業者等の県内就職の促進
  - 県内高校生の県内就職率 75% 現状:66.9%(H31.3)
  - 県内専門学校生の県内就職率 80% 現状:71.7%(H31.3)
  - 県内大学生等の県内就職率 42% 現状:37.2%(H31.3)
  - 県出身の県外大学生の県内就職率 35% 現状:18.4%(H31.3)
- 2.移住促進策の強化
  - 主なKPI 県外からの移住者数 1300組 現状:934組(H30)
- 3.移住施策と連携した各分野の担い手の確保
- 4.事業承継支援の強化 5.外国人材の確保に向けた取り組みの強化

#### 基本目標3 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する

数値目標 合計特殊出生率 **1.7** 現状:1.48(H30)

#### 【基本的方向】

- 1.ライフステージの各段階に応じた少子化対策の推進
  - 理想の子ども数と現実には持たない子ども数の上昇と差の縮小
  - 現状:理想2.38人・現実2.05人 (R元)
  - 主なKPI 平均初婚年齢の低下 現状:夫30.8歳、妻29.4歳 (H30)
- 2.官民協働による少子化対策を県民運動として展開
  - 主なKPI 出会い結婚・子育て応援団の数 1500団体 現状:985団体 (R2.2)
- 3.女性の活躍の場の拡大
  - 高知家の女性しごと応援室における就職者数 延べ1000名 (R2~6)
  - 主なKPI ファミリー・サポート・センターの提供会員数 1000名 現状:684名 (H30)

#### 基本目標4 高齢者の暮らしを守り、若者が住み続けられる中山間地域をつくる

数値目標 集落活動センターの開設数 **80か所** 現状:59か所 (R元)

#### 【基本的方向】

- 1.中山間地域と都市の維持・創生
- 2.住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる県づくり
- 3.未来技術を活用した暮らしの質の向上

### 《具体的な施策》

#### 1.地産の強化

- (1)「新たな付加価値の創造を促す仕組み」の構築
  - ①高知版Society5.0の実現に向けた取り組み
  - ②起業や新事業展開、新商品開発等を促す取り組み
  - ③農業分野
    - ア 生産力の向上と高付加価値化による産地の強化
    - イ 中山間地域の農業を支える仕組みの再構築
    - ウ 農業全体を下支えする基盤整備の推進と農地の確保
  - ④林業分野
    - ア 原木生産のさらなる拡大
    - イ 木材産業のイノベーション
  - ⑤水産業分野
    - ア 漁業生産の構造改革
    - イ 市場対応力のある産地加工体制の構築
  - ⑥食品分野
    - ア 外商の拡大につなげる商品づくりの推進
    - イ 食品産業を支える産業人材の育成
  - ⑦商工業分野
    - ア 絶え間ないものづくりへの挑戦
    - イ 企業立地の促進
  - ⑧観光分野
    - ア 戦略的な観光地域づくり
    - イ 国際観光の推進 ウ おもてなしの推進
- (2) 事業化に向けた支援の強化

#### 1.新規卒業者等の県内就職の促進

- (1) 県内小・中学校生の郷土愛の醸成
- (2) 県内高校生・専門学校生・大学生等、本県出身の県外大学生の県内就職率の向上
  - ・学生への情報発信の強化
  - ・インターンシップに参加する学生の拡大
  - ・奨学金を活用した大学生等の県内定着の促進 等
- (3) 働き方改革の推進や従業員への定着対策、就職氷河期世代の就職支援等

#### 2.移住促進策の強化

- (1) 裾野を広げる
  - ・高知家プロモーションと連携したPRの実施
  - ・様々な手法を活用した効果的な情報発信
  - ・移住に向けた主体的な行動への誘導 等
- (2) マッチングの強化を図る
  - ・地域の人材ニーズの掘り起こし、マッチング、情報発信
  - ・移住・交流コンシェルジュや市町村の移住専門相談員等が連携したきめ細かな相談対応 等

#### 1.ライフステージの各段階に応じた少子化対策の推進

- (1) 出会いの機会の創出
  - ①マッチングシステムの運用強化
  - ②出会いイベントの充実
  - ③サポーター制度の充実
  - ④ライブデザインへの意識醸成
- (2) 安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり  
~「高知版ネウボラ」の推進~
  - ①妊娠・出産
    - 子育て世代包括支援センターの機能強化、健やかな子どもの成長・発達への支援、周産期医療体制の確保・充実、小児救急医療体制の確保、助産師の助産実践能力向上への支援
  - ②子育て
    - リスクに応じた適切な支援、子どもの発達への支援、子育て支援サービスの充実、ネットワークの連携・強化(高知版「ねぶら」体制の全市町村への拡大)
  - (3) 安心して子育てできる環境づくり~働きながら子育てしやすい環境づくり(ワークライフ・バランスの推進)~
    - ①働き方改革の推進
    - ②育児に関する休暇等を取りやすい環境づくり
    - ③女性の活躍の視点に立った取組の推進

#### 1.中山間地域と都市の維持・創生

- (1) 小さな拠点の開設
- (2) 中山間地域の資源や特性を生かした産業づくりの支援
- (3) 鳥獣被害対策の推進
- (4) 中山間地域の生活支援
- (5) 中山間地域の未来を担う人材の育成・確保
- (6) 持続可能な公共交通ネットワークの形成
- (7) 市町村連携の推進

#### 2.住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる県づくり

- (1)高知版地域包括ケアシステムの構築
- (2)高知版ネウボラの推進(再掲)

#### 3.未来技術を活用した暮らしの質の向上

- (1)高知版Society5.0の実現に向けた取り組み(再掲)

# [参考] SDGsの17ゴールの達成に向けた第2期高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組み

- 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の各施策がSDGsのどのゴールに該当するかを職員一人一人が意識することにより、施策をさらにブラッシュアップさせていく  
⇒県庁職員が「SDGsを意識し、施策を進めること」を県政運営指針に盛り込む予定
- 総合戦略など県の各種施策に多くの事業者や県民の皆さまにご参画いただくことで、SDGsの理解促進や取り組み意欲の喚起につなげる  
⇒SDGsと関連付けた政策広報や、県内事業者のSDGs達成に向けた取り組み事例の紹介などを実施

SDGsの17のゴール		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
		貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基礎をつくらう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう	
基本目標・戦略の柱																			
基本目標1 地産外商により魅力のある仕事を創る	(産業振興計画)																		
	農業分野	●	●		●	●			●	●	●		●					●	
	林業分野	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	
	水産業分野	●	●		●	●			●	●	●		●		●			●	
	商工業分野	●			●	●	●			●	●		●	●				●	
	観光分野	●	●		●				●		●								●
	地産地消・地産外商戦略の展開(食品分野)	●	●		●				●	●	●								●
	移住促進による地域と経済の活性化	●			●	●			●		●								●
	担い手の育成・確保	●	●		●	●			●	●	●						●		●
	起業や新事業展開の促進	●			●	●			●	●	●								●
高知版Society5.0の実現	●	●		●	●			●	●	●	●	●						●	
基本目標3 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する	ライフステージの各段階に応じた少子化対策の推進	●	●	●	●	●			●			●					●	●	
	官民協働による少子化対策を県民運動として展開			●		●			●										●
	女性の活躍の場の拡大				●	●			●		●	●							●
基本目標4 高齢者の暮らしを守り、若者が住み続けられる中山間地域をつくる	中山間地域と都市の維持・創生	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●		●	
	住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる県づくり	●	●	●	●	●					●						●	●	
	未来技術を活用した暮らしの質の向上	●	●		●	●			●	●	●	●	●					●	

●第2期高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略の柱とSDGsとの対応表 (SDGsの目標達成に向けた169のターゲットに貢献する取り組みの有無で整理)